

原虫生化学分野

論文

A 欧文

A-a

1. Mi-Ichi F, Tsugawa H, Yoshida H, Arita M*: Unique features of Entamoeba histolytica glycerophospholipid metabolism; has the E. histolytica lipid metabolism network evolved through gene loss and gain to enable parasitic life cycle adaptation? . mSphere 8(5): e0017423,2023. doi: 10.1128/msphere.00174-23 . (IF: 5.029)

B 邦文

B-b

1. 見市文香：赤痢アメーバの“シスト形成”～赤痢アメーバの宿主間伝播はシスト壁中に“潜伏”して達成される～. 炎症と免疫 vol.32(1): 23-27, 2023.

B-c

1. 風間 真, 金子 修, 見市文香：病原原虫リソース. 微生物資源の整備と利活用の戦略 : 2023.

学会発表数

A-a	A-b		B-a	B-b	
	シンポジウム	学会		シンポジウム	学会
0	0	0	2	1	1

競争的研究資金獲得状況（共同研究を含む）

氏名・職	資金提供元/共同研究先	代表・分担	研究 題 目
見市文香・教授	日本学術振興会	代表	基盤研究(C) 「赤痢アメーバ休眠化における含硫脂質の役割の解明」
見市文香・教授	国立研究開発法人日本医療研究開発機構	代表	「新興・再興感染症研究基盤創生事業（多分野融合研究領域）」 「リピドミクスのメタデータに基づく赤痢アメーバ脂質代謝解析—赤痢アメーバの生化学・生理学と創薬標的・リード化合物の提供—」
見市文香・教授	長瀬科学技術振興財団	代表	2023年度研究助成金 「赤痢アメーバのシストが呈する物質遮断の分子基盤と形成機構の解明」

その他

非常勤講師

氏名・職	職（担当科目）	関係機関名
見市文香・教授	非常勤講師（微生物学・寄生虫学）	佐賀大学医学部看護学科
見市文香・教授	非常勤講師（微生物学）	佐賀大学医学部医学科
見市文香・教授	非常勤講師（免疫学）	佐賀大学医学部医学科
見市文香・教授	非常勤講師（生物医学特論、熱帯医学特論）	東京大学大学院医学系研究科